

別紙1（第6条関係）

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属進化認知科学研究センター
MRI 運営委員会委員長 殿

（委員会記入欄）

受付年月日：新規 変更

課題番号：

受理年月日：新規 変更

新規申請 平成 30年 3月 30日
変更申請 平成 年 月 日

M R I 研究安全審査申請書

1. 申請者（申請者は東大教職員に限る。東大に籍を置く研究員は申請可。非常勤講師は不可）

氏名：	東大 太郎
所属・職名：	東京大学大学院 総合文化研究科進化認知科学研究センター ・ 准教授
内線：	XXXXX E-mail: todaitaro@mail.u-tokyo.ac.jp

2. 研究課題および研究代表者

2-1 研究課題名 安静時機能的 MR 画像を用いた知能の神経基盤の解明
2-2 代表者 氏名：東大 太郎 所属・職名：東京大学大学院 総合文化研究科進化認知科学研究センター ・ 准教授 内線：XXXXX E-mail: todaitaro@mail.u-tokyo.ac.jp
2-3 連絡担当者（2-2 代表者と異なる場合） 氏名： 所属・職名： 内線： E-mail：
2-4 指導教官（申請者と代表者が東大教員ではない場合、指導に責任を持つ東大教員名を記載） 氏名： 所属・職名：

内 線 :

E-mail :

3. 実施者(注: 東大教職員には東大に籍を置く学振などの研究員を含む。非常勤講師は含まない)
実験はMRI 安全講習を受講した二人以上の立ち会いのもとで実施すること。その際、二人のうち一人はMRI 操作講習を受講している必要がある。また、二人のうち一人は東大の教職員であること。

氏 名

- ・ 東大 太郎 東大の教職員 MRI 安全講習 MRI 操作講習
- ・ 東大 花子 東大の教職員 MRI 安全講習 MRI 操作講習
- ・ 東大 次郎 東大の教職員 MRI 安全講習 MRI 操作講習

4. 撮像の対象

- 健常者 (総数 40 名)
内訳 18 歳以上 20 名、 18 歳未満 20 名
- 診断が確定している患者 (総数 名)
内訳 18 歳以上 名、 18 歳未満 名
- 疾患が疑われる患者 (総数 名)
内訳 18 歳以上 名、 18 歳未満 名
- ヒト以外のもの
(撮像対象 :)

5. 実験手続

5-1 刺激 (刺激の種類とその提示方法、提示機器)

- 刺激提示 あり なし
- 視覚刺激 (既存設備 その他 持ち込み PC)
 - 聴覚刺激 (既存設備 その他)
 - 体性感覚刺激 (既存設備 その他)
 - その他 ()

5-2 薬物の使用 (使用する薬物の種類・名前と使用方法)

薬物使用 あり なし

薬剤名 _____ 投与量 _____

- 経口投与 皮下投与 パッチ

5-3 反応検出方法 (MRI ガントリ内で行う実験参加者の反応検出方法)

反応検出 あり なし

反応ボタン (既存設備 その他)

マイク (既存設備 その他)

ビデオ撮影 (既存設備 その他)

その他 ()

5-4 MRI と併用して記録する生体信号・生理指標

併用記録 あり なし

脈波 (既存設備 その他)

呼吸 (既存設備 その他)

脳波 (既存設備 その他)

眼球運動 (既存設備 その他)

筋電図 (既存設備 その他)

その他 ()

5-5 撮像条件 (各シーケンスの回数と所用時間)

例) 機能画像

4 回 1 回の撮像時間 約 10 分

シーメンスとの契約の関係で MB-EPI や MEGA-PRESS を用いる場合はそれを明記

注) MB-EPI 利用時には、脈波、呼吸、心電図を記録できます

注) 緑で書いた部分は提出時には削除して下さい

合計撮像時間 約 40 分

5-6 撮像室への持込装置

例) 輝度計

注) 緑で書いた部分は提出時には削除して下さい

6. 確認事項

- 1) 本研究の実施手順に何らかの変更が生じる場合には、必ず変更前に審査を受けることを承知します。
- 2) 実験参加者に関して何らかの問題が生じた場合は、ただちに倫理委員長に連絡します。
- 3) 申請内容と異なる利用を行った場合は、研究室単位で停止になる場合があることを承知します。

代表者署名： _____

年 月 日： 2018年3月30日

申請日以前の日を記入して下さい